



関西いのちの電話



毛馬の水門



冊子『ともに歩む“いのちの電話”』を読む！

関西いのちの電話 理事長 李 清一

今年の4月、日本いのちの電話連盟（以下連盟）によって、『ともに歩む“いのちの電話”』が発行されました。この冊子は、厚生労働省自殺対策事業の一環として計画されたものでした。連盟では、日本におけるいのちの電話活動が始まり50年を迎えるにあたり、これまでの活動の理念や事業、課題をまとめ、この相談活動の実際を私たちみんなのものにすると同時に、これらの活動を公に紹介することを目的に企画されたものでした。私も、編集委員の一人に加わることで、学ぶことが多々ありました。この冊子は、A4判本文48ページからなり、章立ては次のようになっています。

はじめに

第1章 いのちの電話の理念と基本精神

1節 いのちの電話の理念や精神

2節 相談員養成研修の内容

第2章 これまでの活動をふりかえって気づいたこと

1節 相談員の体験談

2節 日本いのちの電話連盟の沿革といのちの電話の歴史

3節 電話相談の効果と限界

第3章 社会の変化に合わせて変わってきたこと

第4章 「これからの自殺予防活動に向けていのちの電話は何をしていけばよいのか」加盟センターのアンケート結果あとがき

特に第4章のアンケート調査の結果から、主な内容を見てもみますと、①この7年間で9割近いセンターで相談員が減少している。②専門スタッフの不足のために2割以上のセンターの活動に支障が出ている。③予算不足により4割近くのセンターが経営危機に陥っている。④現在、主として活動の支障となっている問題は、相談員の不足、高齢化、運営資金の不足である。⑤6割近いセンターが10年先も電話相談活動を堅持したいと考えている。⑥連盟には、センター間の情報共有や連携の促進、財政支援・予算獲得という役割が期待されている等です。

関西いのちの電話の立場で読む時、課題を同じくする内容が多いのに気づかされます。関西いのちの電話は、2024年9月25日でもって開局51年を迎えることができました。また昨年より進めてまいりましたセンター移転も今年5月に完了しました。関西いのちの電話の課題をしっかりと認識しながら、あせらず一歩ずつ歩みを続けたいと思います。

関西いのちの電話 相談電話 (24時間365日) ☎06-6772-1121

自殺予防いのちの電話 毎日(日・祝含む) 16:00~21:00 毎月10日 午前8:00 ~ 翌日午前8:00 ☎0120-783-556

関西いのちの電話 第28回チャリティコンサート

おととむ
音登夢ピアノトリオ with 若き音楽家たち

開催日：2024年9月21日(土) 会場：ドーンセンターホール(大阪府立男女共同参画・青少年センター)



9月21日(土)、ドーンセンターホールにて、第28回チャリティコンサート「音登夢(おととむ)ピアノトリオ with 若き音楽家たち」が開催されました。

チャリティコンサートは、私たちの活動を多くの方々を知っていただくこと、また組織を支えるための活動資金を皆様方にご協力いただくことを目的とし、毎年さまざまなジャンルで、質の高い音楽を楽しんでいただけるように企画運営してまいりました。

関西いのちの電話は、昨年度2023年9月に創立50周年を迎えました。また、今年度2024年5月に事務所を移転し、新たな一歩を踏み出し、相談員一同気持ちも新たに相談活動を始めております。その節目となる今年度、皆様のご支援、ご協力により、多くの実績を持ち多方面で活躍されている音登夢さんをお迎えして開催できましたことは大変ありがたく、多くの方々を訪れてくださったことに心より感謝申し上げます。

音登夢は、ヴァイオリンの木村直子さん、チェロの木村政雄さんによって1998年に結成。2人のデュエット(二重奏)を最小単位にして、仲間を加えさまざまな編成でコンサート活動を展開されています。今回は、2000年より音登夢のピアニストとして演奏に参加されている、南木優子さんが加わってのトリオ編成。さらに、お弟子さんである若き音楽家たち(難波二葉さん・山田夏実さん)との共演で、二部構成のプログラムとなりました。

第一部「音登夢と若きヴァイオリニストの夢の競演」は、誰もが知っているパッヘルベルの「カノン」から始まりました。5人が奏でる美しく豊かなハーモニーに観客は一気に引き込まれ、「鳥肌がたった」という感想を下された方もありました。演奏後の直子さんのご挨拶では、お弟子さんたちとのコンサートを心待ちにされていたこと、若い人たちにもコンサートに参加してもらい、いのちの電話を知る機会としたい、とのお話がありました。

その後、モーツァルト「ヴァイオリン協奏曲第5番」では、山田さんの堂々とした独奏、ショパン「革命」は南木さんの見事なピアノ演奏、モンティ「チャルダッシュ」は直子さんの

熟練の超絶技巧と、感動のプログラムが続きました。カザルス編曲「鳥の唄」では、政雄さんの気迫に満ちたチェロの音色、サンサーンス「死の舞踏」では、難波さんの想いのこもった演奏が、心に響きわたりました。命や平和に寄り添う選曲に加え、演奏前に曲の解説をしていただき、観客はいっそう演奏に入り込むことができました。

第二部「愛する猫と常田富士夫さんに捧ぐ」は、ラセック「猫のセレナーデ」から始まりました。音登夢のヴァイオリンとチェロで息もぴったり、いろいろな猫の鳴き声をコミカルな演技とともに表現され、猫の愛らしさが伝わってきました。別役実作「なにもないねこ」「ねこのうた」では、政雄さんの朗読、山田さんの歌も加わり、存在しているのに誰にも気づかれない猫を通して、存在の意味や孤独、認識されることの大切さなどを観客に問いかけました。



となりのトロより「ねこバス」では、南木さん、難波さんの連弾、直子さん、山田さんのダンスという楽しい演出で、会場には笑顔があふれ、心が温まりました。モリコーネ「ニューシネマパラダイス」では、なじみのある曲が続き、感動とともに涙する人もありました。フィナーレは、今年の大河ドラマ「光る君へ」のテーマ曲が披露され、生演奏の迫力を感じる、とても素晴らしい演奏でした。アンコールの「情熱大陸」では、大きな拍手とともに会場が一つになり、最後に「いのちの電話の活動を通して、救われる命がたくさんあるように」との祈りを込めて「アメイジング グレイス」が厳かに演奏され、幕を閉じました。

「今回のコンサート、何に感動しているのか…。細部にまで行き届いた技巧もさることながら、世代間で引き継がれていく『精神』なのかもしれないと感じました」、「5人の方の調和を感じ、若い人たちのエネルギーを感じ、ほっこりした気持ちになれるコンサートでした」、「関西いのちの電話、初めて知りました。24時間365日の対応に感謝申し上げます」など、感動の声をたくさんいただきました。

第28回チャリティコンサートが大盛況に終わり、心温まる時間となりましたこと、心より感謝申し上げます。

(新企画)

自殺に関する記事を連載します

私たち関西いのちの電話は、自殺予防を目的として大阪で活動しています。この広報誌をご覧になってくださっている方は、関西いのちの電話の活動や自殺予防について関心のある方が多いと思います。では実際に大阪で自殺された方々のことについて、皆さまはどれくらいご存知でしょうか？

厚労省や警察庁をはじめとした政府機関において、自殺者数が発表されていますが、各都道府県の単位でもその数は発表されています。大阪府ホームページ(HP)においては、令和5年度の全国の自殺者数の推移と比較して掲載されています(図1)。

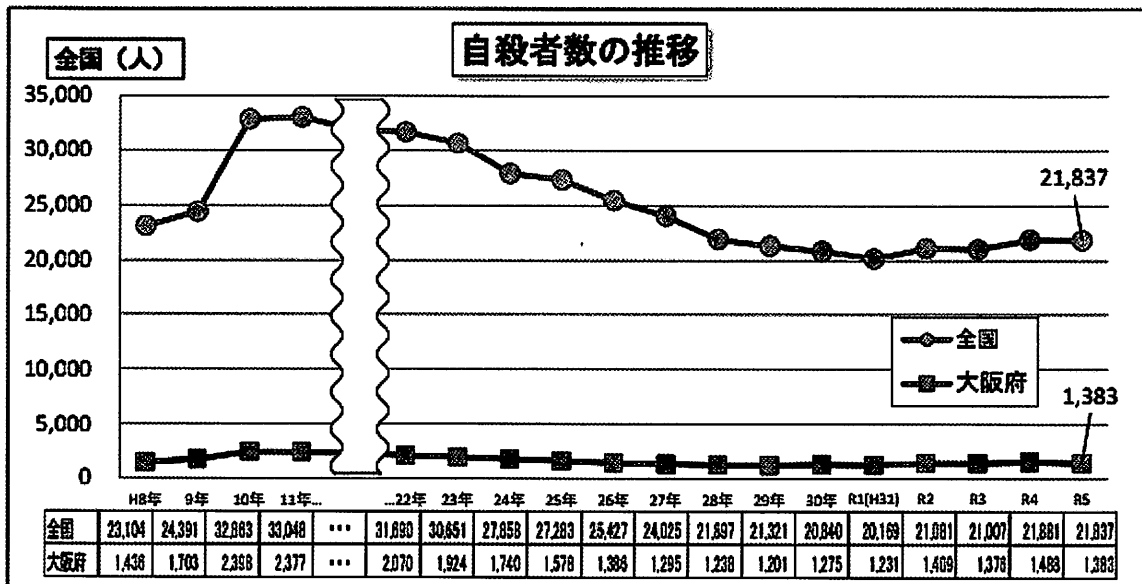
その内容として、下記のように分析されています。

- ①大阪府の自殺者数は過去10年を見ると、全国と同様に推移して平成23年より減少傾向となり2千人を下回っている。
- ②平成30年以降横ばい状態であった自殺者数が、令和2年に新型コロナウイルス感染症の拡大等の社会の変化により増加に転じた。
- ③令和3年は前年より減少したが、令和4年は再び増加。令和5年は前年より105人減少して1,383人となるが、1日に約4人の方が亡くなられている状況である。

これを皆さまはどのように受けとめられますか？

大阪府の自殺の概要<令和5年>

(図1)



このような実態を私たちはあまり意識をせずに生活しているのではないのでしょうか。また前号で示したように、私たちは独自で電話相談の統計的な資料を持っています。次回以降、公的データと関西いのちの電話のデータ比較等を数回に分けて行なっていこうと思います。

参考資料

大阪府健康医療部こころの健康総合センター推進課. “大阪府の自殺の概要”. 大阪府 2011.7.6.

https://www.pref.osaka.lg.jp/0100220/kokoronokenko/jisatsu_gaikyou/index.html(参照2024.11.1)

あたたかいご支援ありがとうございます

2024年2月1日～5月31日までに、次の方々から社会福祉法人関西いのちの電話への寄付を頂きました。
心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。 (五十音順 敬称略)

【個人】

青山 洋	大坂 雅巳	河内 俊之	菅谷 道子	長野加代子	正岡 哲	安永 繁美
浅野 敏行	大津 久直	小頭 誠	杉浦眞喜子	中野 爲夫	松浦 謙	山内 通生
乾 純代	小川 弘二	佐野 恒子	隅田 保	中野 桂子	松本 剛	山口 健一
今谷 由美	神谷 尚孝	幣原 直子	ソトワヨシタカ	長野 泰信	水谷恵里子	山下 佳子
今村 良子	岸本 彰五	柴峠 隆士	竹村 武男	新川 久義	ミヤザキヒロシ	山田 道雄
上坂 和美	北川 美香	島田 眞一	妻鹿 泰子	野崎 京子	宗像千代子	渡辺藤市郎
曙地 道俊	北之坊皓司	東海林恭子	道免 逸子	日野 基子	安岡久美子	匿名 3名

【団体】

愛徳カルメル会 本部修道院	かわすみクリニック	日本基督教団眞面教会
江崎グリコ株式会社	京谷クリニック(京谷京子)	梅花中学校、高等学校
大阪帝陵ライオンズクラブ	コニシ株式会社	融通念佛宗 法蔵寺

◎他に相談員・理事・評議員・有志などが支えています。

関西いのちの電話 第42回公開講座

「きもちは、言葉をさがしている ～42年目の「紅茶の時間」から」

講師 水野スウ (エッセイスト)

日時：2025年2月2日(日) 13:30～15:00(13:00開場)

場所：ドーンセンターホール
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
大阪市中央区大手前1-3-49 TEL 06-6910-8500

申込先／関西いのちの電話事務局(受付時間：月～金 10～17時)
TEL 06-6795-4860 FAX 06-6795-4861
E-mail:jimukyoku@kaindinochi.com
※詳細は、HPでご確認ください。

お申し込み後、当日受付にて参加協力費(1000円)をお支払いください。
尚、座席に限りがございますので、あらかじめご了承ください。
※当日申込の場合、参加協力費は1200円です。

プロフィール

東京生まれ。日本女子大英文学科卒。石川県津幡町在住。1974年、結婚と同時に金沢へ。娘の誕生をきっかけに、1983年より週に一度のオープンハウス「紅茶の時間」を自宅で始める。おはなしやコミュニケーション・ワークショップ、けんぼうかふえの出前にも。著書に「きもちは、言葉をさがしている」、「贈りものの言葉」、「紅茶なきもち」、「ほめ言葉のシャワー」ほか。2018年、「わたしとあなたの・けんぼうBOOK」 「たいわけんぼうBOOK+」で第24回平和協同ジャーナリスト基金・荒井なみ子賞を受賞。

「紅茶なきもち」blog
<http://kimochi-tea.cocolog-nifty.com/blog/>



この広報誌は、令和5年12月に実施された大阪府共同募金会の助成を受けて発行しています。府民(寄付者)のみなさまに感謝いたします。

編集後記

今号は自ら死を選んだ人について統計データに関する記事を書いてみました。皆さまはどのように感じられましたか?

さて私たち相談員は言葉を介してやり取りをしています。しかし、人の気持ちや感情というのは言葉で伝えられるのはごく一部です。むしろ本心や本音といった本当の気持ちは、言葉にはあらわれないうちに隠れていることの方が圧倒的に多いでしょう。

相談者が抱える痛みや苦しみは言葉の奥にあります。私たちが心がけている傾聴は、単に相談者が話している言葉そのものを聞くことではありません。その言葉の奥にある痛みや苦しみを感じ取ることにあります。言葉を越えたものに気づくことができたとき、私たちは相談者のなかにある真実をみる事ができるのです。(MF)

電話相談受信状況(2024年)

受信月	6月	7月	8月	9月	10月
受信件数	1,566件	1,495件	1,426件	1,537件	1,498件
相談員数(延)	411人	411人	395人	409人	394人

社会福祉法人 関西いのちの電話

事務局 〒537-0024 東成鶴橋駅前郵便局留
TEL 06-6795-4860
FAX 06-6795-4861
発行人 李清一 編集 広報委員会
ホームページ <https://kaindnew.com>

